

製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名 MCモルトクリーナー
 会社名 マコト化学工業株式会社
 住所 東京都大田区北千束2丁目9-2
 担当者 技術部 石橋 秀元
 電話番号 03-3782-5992
 FAX 番号 03-5751-3052
 緊急連絡先 同上
 整理番号 MCMCC

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性	: 引火性液体	区分3
健康に対する有害性	: 皮膚腐食性・刺激性	区分2
	: 眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	区分2
	: 発がん性	区分2
	: 生殖毒性	区分1 B
	: 特定標的臓器・全身毒性(単回暴露)	区分1(呼吸器、神経、肝、腎)
		区分2(肺)
	区分3(麻酔作用、気道)	
	: 特定標的臓器・全身毒性(反復暴露)	区分1(肺、呼吸器、神経)
		区分2(血管、肝、精巣)
	: 吸引性呼吸器有害性	区分1
環境有害性	: 水生環境有害性(急性)	区分1
	: 水生環境有害性(慢性)	区分1

※記載がないものは、分類対象外または分類できない。

< GHS ラベル要素 >

絵表示



注意喚起語	危険
危険有害性情報	引火性液体および蒸気 皮膚刺激 重篤な眼への刺激 発がんのおそれの疑い 生殖能または胎児への悪影響のおそれ 臓器の障害 長期にわたるまたは反復ばく露による臓器の障害 飲み込み、気道に侵入すると生命に危険のおそれ 水生生物に非常に強い毒性 長期的影響により水生生物に非常に強い毒性

注意書き

安全対策

熱、火花、裸火、高温のもの、静電気のような着火源から遠ざけてください。
— 禁煙。

防爆型の電気機器、換気装置、照明機器、火花の出ない工具を使用してください。

静電気放電に対する予防措置を講じてください。

個人用の保護具を着用、または換気の良い区域でのみ使用してください。

ミスト、蒸気等を吸入しないよう、局所排気装置等を設けてください。

この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないでください。

取扱い後は手洗い、うがいを十分おこなってください。

容器を溶接、加熱、穴あけ加工をしないで下さい。（残留物が発火のおそれがあります）

応急措置

火災の場合　　：炭酸ガス、泡、または粉末消火器を用いて消火してください。

飲み込んだ場合：口をすすぎ、すぐに医師の診察を受けてください。

吸入した場合　：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させてください。

保管

容器を密閉し、日光から遮断し、涼しく換気の良い場所で施錠して保管してください。

廃棄

内容物や容器を都道府県知事の許可を得た専門の廃棄物処理業者に委託してください。

空容器に圧力をかけないでください。（破裂のおそれがあります）

3. 組成及び成分情報

単一製品／混合物の区別：混合物

製品の化学特性に関する情報

成分

化 学 名	含有量	官報公示 No 化 審 法	CAS No.
ミネラルスピリット *	55 ～ 65	非公開	非公開
鉱油 *	1 ～ 10	非公開	非公開
灯油 *	25 ～ 35	9-1702	64742-81-0
ホ ^o リオキシエチレンノニルフェニル エーテル※ *	3.2	7-172	9016-45-9
その他	< 1	—	—
1,2,4- トリメチルヘ ^o ンセ ^o ン ※ *	10.5(代表値)	3-3427	95-63-6
1,3,5- トリメチルヘ ^o ンセ ^o ン ※ *	2.7(代表値)	3-7	108-67-8
キシレン※ *	1.2(代表値)	3-3	1330-20-7

※：化学物質排出把握管理促進法（PRTR 法）第 1 種指定化学物質

*：労働安全衛生法通知対象物

毒劇法の該当：非該当

化学物質排出把握管理促進法（PRTR 法）：該当

注）トリメチルベンゼン、キシレン：ミネラルスピリットおよび灯油は原油由来の成分で組成中にトリメチルベンゼン、キシレンを含有いたします。そのため、含有量が変わります。

化学物質排出把握管理促進法（PRTR 法）第 1 種指定化学物質の政令番号と該当

4. 組成及び成分情報

吸入した場合：患者を風通しの良いところに移して安静にする。大量に吸入した場合には、速やかに医師の手当てを受ける。

皮膚に付着した場合：汚染された衣類は脱ぎ去り、多量の水及び石けんで洗い流す。皮刺激が生じた場合は、速やかに医師の手当てを受ける。

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合は、速やかに医師の手当てを受ける。

飲込んだ場合：無理に吐き出そうとせず、水で口をすすぎ、速やかに医師の手当てを受ける。

応急措置をする者の保護：救助者が有害物質に触れないように保護具を着用する。

5. 火災時の措置

- 消火方法 : 移動可能な容器は速やかに安全な場所に移す。初期の火災には粉末、炭酸ガス、乾燥砂などを用いる。大規模火災には、泡消火剤を用いて空気を遮断する。周囲の設備などに散水して冷却する。消火作業の際は、必ず保護具を着用する。消火作業は風上から行い、有毒なガスの吸入を避ける。消火のための放水などにより、環境に影響を及ぼす物質が流出しないように適切な措置を行う。
- 消火剤 : 泡消火剤、炭酸ガス、粉末消火剤、乾燥砂

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項 : 作業の際には保護具（保護手袋、呼吸用保護具等）を着用し飛沫などが皮膚に付着しないようにする。風下の人を退避させる。付近の着火源となるものを速やかに取除く。
- 環境に対する注意事項 : 流出した製品が河川などに排出されないように注意する。
- 除去方法 : 少量の場合には、乾燥砂、ウエスなどに吸収させて密閉できる容器に回収する。大量の場合には、盛り土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてから処理する。製品を吸着または吸収したものは、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に従って適正に処理する。外部委託の場合は、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託する。（「13. 廃棄上の注意」の項 参照）

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 技術的対策 : 吸入、接触のおそれがあるときは、適切な保護具を着用する。電気、静電気、衝突火花などによる着火源が生じないようにする。
- 注意事項 : 暴露防止のため、保護具を着用して作業を行う。取扱場所では換気を充分に行い、また近くに手洗い、洗眼などの設備を設ける。
- 安全取扱注意事項 : 火気厳禁

保管

- 技術的対策 : 通風を良くし、蒸気が滞留しないようにする。火気、熱源よりざける。
- 混接触禁止物質 : 強酸、強アルカリ、酸化性物質との接触並びに同一場所での保管避けること。
- 保管条件 : 漏洩の防止。容器を密閉し、直射日光を避け、高温物を近づけない。換気良好な冷暗所*に保管する。（* 0℃以下になるような場所には保管しない）

8. 暴露防止及び保護措置

- 設備対策 : 取扱いについては全体換気装置を設置した場所で行う。
- 保護具 : 必要に応じて、呼吸用保護具（有機ガス用防毒マスク）保護手袋、保護眼鏡、保護衣を着用する。

含有成分の許容濃度

化学物質の名称	管理濃度	ACGIH	日本産業衛生学会
ミネラルスピリット	—	525mg/m ³ (ストックタクト ソルベントとして)	—
鉱油	—	(オイルミスト) 5mg/m ³	(オイルミスト) 3mg/m ³
灯油	—	200mg/m ³	(オイルミスト) 3mg/m ³
トリメチルベンゼン	—	25ppm *	—
キシレン	50ppm	100ppm	50ppm

9. 物理的及び化学的性質

外観

色・形状：無色透明液体

臭い：僅かな溶剤臭

pH：該当しない

沸点・初留点：145℃以上

沸騰範囲：160～200℃

引火点：45℃

自然発火温度：約240℃以上（推定値）

燃焼または爆発範囲：上限…約7% 下限…約1%（推定値）

蒸気密度：データなし

比重：0.82（15℃）

溶解性：水に難溶

オクタノール／水分配係数：データ無し

分解温度：データ無し

10. 安定性及び反応性

- 安定性・反応性：通常の使用条件下では安定性が高い。
- 避けるべき条件：ハロゲン類、強酸類、アルカリ類、強酸化剤との接触を避ける。
- 避けるべき材料：現在の所有な情報なし。
- 危険有害な分解生成物：燃焼の際は、煙、一酸化炭素、亜硫酸ガス等が生成される。

11. 有害性情報

製品としての有害性情報：製品としての情報なし

成分の有害性情報（GHS 分類）

ミネラルスピリット	：皮膚腐食性／刺激性	区分 2
	特定標的臓器・全身毒性（単回暴露）	区分 3（気道刺激性、麻酔性）
	特定標的臓器・全身毒性（反復暴露）	区分 2（肝臓、精巣）
	吸引性呼吸器有害性	区分 1
鉱油	：急性毒性（吸入：粉塵／吸入：ミスト）	区分 4
	皮膚腐食性／刺激性	区分 3
	眼に対する重篤な損傷／眼刺激性	区分 2 B
	生殖細胞変異原性	区分 2
	特定標的臓器・全身毒性（単回暴露）	区分 2（肺）
	特定標的臓器・全身毒性（反復暴露）	区分 1（肺）
	吸引性呼吸器有害性	区分 1
灯油	：皮膚腐食性／刺激性	区分 2
	発ガン性	区分 2
	特定標的臓器・全身毒性（単回暴露）	区分 3（気道刺激性、麻酔性）
	吸引性呼吸器有害性	区分 1
トリメチルベンゼン	：皮膚腐食性／刺激性	区分 2
	眼に対する重篤な損傷／眼刺激性	区分 2 B
	特定標的臓器・全身毒性（単回暴露）	区分 3（気道刺激性、麻酔性）
	特定標的臓器・全身毒性（反復暴露）	区分 2（皮膚、血液、呼吸器、中枢、神経系）
	吸引性呼吸器有害性	区分 1
キシレン	：急性毒性（経口）	区分 5
	皮膚腐食性／刺激性	区分 2
	眼に対する重篤な損傷／眼刺激性	区分 2 A
	生殖毒性	区分 1 B
	特定標的臓器・全身毒性（単回暴露）	区分 1（呼吸器、肝臓、中枢神経系、腎臓）
	特定標的臓器・全身毒性（反復暴露）	区分 1（呼吸器、神経系）

※記載がないものは、分類対象外または分類できない。

12. 環境影響情報

成分の有害性情報（GHS 分類）

ミネラルスピリット	：水生環境有害性（急性）	区分 1
	水生環境有害性（慢性）	区分 1
トリメチルベンゼン	：水生環境有害性（急性）	区分 2
	水生環境有害性（慢性）	区分 2
キシレン	：水生環境有害性（急性）	区分 2
	水生環境有害性（慢性）	区分 2

※記載がないものは、分類対象外または分類できない。

13. 廃棄上の注意

- 残余廃棄物 : 本製品を含む廃棄物は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律で特別管理産業廃棄物（廃油）に規定されているため、法令に従って適正に処理する。
- 汚染容器／包装 : 空容器は内容物を完全に使い切った後、産業廃棄物として処理する。包装材料は産業廃棄物として処理する。

14. 輸送上の注意

- 国連分類 : クラス 3
- 国連番号 : 1210
- 指針番号 : 129
- 注意事項 : ・容器漏れのないことを確かめ、損傷が無いように積み込み、荷崩れ防止を確実に行う。
 ・容器積み重ねる場合には、高さ 3 m 以下とする。
 ・第一類、第六類の危険物及び高圧ガス（一部省く）とは混載できない。
 ・消防法の危険等級Ⅲに準ずる運搬容器に収納して運搬する。

15. 適用法令

- 消防法 : 第 2 条危険物第 4 類第 2 石油類（非水溶性）危険等級Ⅲ
- 労働安全衛生法 : 施行令別表第 6 の 2 有機溶剤 第 3 種有機溶剤
- 化学物質排出把握管理促進法（P R T R 法） : 第 1 種指定化学物質
- 航空法 : 施行規則第 1 9 4 条告示別表第 3 引火性液体 G ー等級 3
- 港則法 : 施行規則第 1 2 条危険物告示 引火性液体類
- 危険物船舶輸送及び貯蔵規則 : 第 3 条危険物告示別表第 5 引火性液体類（高引火点引火性液体）
- 廃棄物の処理及び清掃に関する法律

16. その他の情報

記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては、情報の完全さ、正確さを保証するものではありません。また、新しい知見の発表により内容に変更が生じることがあります。なお、含有量、物理的及び

化学的性質等の数値は保証値ではありません。

また、記載事項は通常の実験を対象としたものですので、特別な取扱いをするなどの場合はこの点にご配慮をお願いいたします。

参考文献

1. ACGIH(2006年)
2. 日本産業衛生学会 (2006-2007 年)
3. ICSC CARD
4. 神奈川県環境研究所データベース
5. 独立行政法人 製品評価技術基盤機構 GHS分類結果データベース
6. 原材料の MSDS
7. 製品安全データシート作成指針 (日本化学工業協会) 2006年5月発行
8. 製品安全データシート作成資料改訂第3版 JIS Z7250-2005対応 (印刷インキ工業連合会)
9. IARC (Vol.1 ~ 85)